

令和2年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園 西光こども園

1. 本園の教育・保育目標
理念 ・生かされているいのちにめざめともに育ちあう ・豊かな宗教的情操教育の中で、心身の調和的な発達を図り、ひとりひとりの幼児が幸せな生活のできるいしづえを築く
目標 生命を大切にする子どもを育てる ・まことに生きる（自立性） ・思いやりのある子（協調性） ・話を良く聞く子（自律性） ・仲良くする子（社会性）
2. 評価項目
① 幼保連携型認定こども園として2年目、職員がより良い教育・保育方法を積極的に学びお互いに協力しながら教育・保育をする。 ② 保護者との連携をとり園での取り組みをわかりやすく保護者に知らせ、外部とのかかわりを広くもつ。 ③ 命の大切さを知り、学ぶことにより尊い命であること、命の大切さを伝える。 ④ 園を広く周知させることにより、保育のひろがり見直しを図る。 ⑤ 地域とのかかわりを持つ。積極的に催しに参加したりして地域とのつながりや、子どもたちに達成感の自信をもたせる。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）
① 教育・保育方法をお互いに学び、協力しながら教育・保育をしてきた。また、学ぶべきこともあり、研修もできるだけ参加してきた。 ② コロナ禍の中で、園での取り組みや行事を園だよりやHP、文書等で知らせ、保護者や外部の方にもご協力いただいた。外部とのかかわりは感染拡大防止の観点より行えないことが多かった。 ③ 命の大切さは日々伝えており、食物を育て収穫し食することやいろいろな人がかかわっていること、それにより、命がつながり尊いものであることを伝えていった。 ④ HP の見直しや新着情報等、公表などできることを個人情報に気をつけながら公開することを心がけていった。 ⑤ 地域の催しに毎年参加していたが、コロナ禍で中止も多くなり、訪問することもできなかった。感染症予防対策をしながら広いホールで警察署の方の技術をみせていただく機会が持てた。
4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画
1 研修は形をかえて実施されると思われるので、キャリアアップ研修や全般的に皆が学べる場を確保し、全体で共有する。 2 園を広く周知させる。インスタグラムなど検討中。 3 コロナ禍でもその都度見直しをしながら行事等内容を皆で検討してできることをする。 4 地域とのかかわり方を考える。 5 生命の大切さ（生かされている命）を伝える教育・保育を心がける。